

Religion and Minority: lived religion, migration and marginalities in secular societies (宗教とマイノリティ：世俗社会における生きられた宗教、移民、周マージナリティ)

プロジェクトの概要

本プロジェクトは、the UKRI ESRC-AHRC UK-Japan SSH Connections Grant Scheme による助成を受けた、マンチェスター大学（研究代表者：Dr. Erica Baffelli）と東洋大学（共同研究者：高橋典史）の共同研究プロジェクトである。

本研究グループは、「宗教的マイノリティ」と、宗教組織におけるマイノリティ集団について、イギリスと日本両国の大学間の長期にわたる研究の連携を展開することを目的としている。本連携のねらいは、宗教の文脈における「マージナリティ」と「マイノリティ」の概念を検討することにある。異なる文化および社会的文脈においてマイノリティ集団がいかに関与され、定義されるのかといった視点からだけでなく、周縁化された集団がより広い外部社会と対峙しつつ自分たちのアイデンティティを構築するため、もしくは宗教伝統の内側に自らの居場所を確保するために、どのように宗教を用いるのかといった観点からも、その検討を行う。本プロジェクトは、多様な事例研究の成果を用いて上述のトピックを探究するために、イギリスと日本の経験豊かな研究者たちと若手研究者たちの国際的なネットワークを構築し、現代社会における宗教研究のための方法論とアプローチを涵養することをめざしている。

2名の若手研究者向けの研究員制度は、近年に博士号（PhD）を取得した者を対象とし、本研究グループに関連するトピックについての調査プロジェクトの遂行と研究職への応募を進めていくために、イギリスまたは日本において2ヶ月間、過ごします。マンチェスターまたは東京での滞在中、研究員は、研究代表者の Dr. Erica Baffelli と共同研究者の高橋典史による指導を受け、かつマンチェスター大学または東洋大学に海外客員研究員として迎えられます。また、研究員はイギリスと日本における本研究グループによる全ての取り組みに参加することができる。本研究員制度による助成は、エコノミークラス航空券代、2ヶ月間の宿泊代、食費、現地での交通費を支出する。研究員たちが本研究プロジェクトに十分に関与するために、本研究員制度は2019年5月から2020年1月の期間に開始することとする。

応募資格

本研究員制度による助成者は、1名はイギリスを拠点とする若手研究者、もう1名は日本を拠点とする若手研究者とする。応募者の国籍は問わない。応募者は2014年1月以降にイギリスまたは日本の大学において博士号（PhD）を取得した者とする。常勤の研究職に就

いている者、また日本学術振興会特別研究員（PD）などの他のポストドクターの有給研究職にある者は対象としない。現在、博士課程に在籍している研究者については、博士論文をすでに提出済みであり、研究員制度の開始日までに学位取得見込みの者を対象とする。応募者には、日本とイギリスと双方において調査を実施するための、日本語と英語に関する優れた知識を有することを期待している。

選考方法

本研究員は、研究代表者と共同研究者に加えて、本研究プロジェクトのメンバーから選ばれた少なくとも2名によって構成される審査員によって選考される。なお、博士号を取得して1年以内の候補者が優先される。

応募の手順

応募者は、英語または日本語で作成した以下の書類を提出すること。

- ・履歴書（CV）：英語最大 1,000 words、日本語最大 3,000 字
- ・カバーレター：英語最大 1,000 words、日本語最大 3,000 字、以下の項目を含むこと。
 - a) 本プロジェクトに関連するこれまでの研究経歴の説明
 - b) スケジュールを含むイギリスまたは日本で実施する研究プロジェクト案
 - c) 期待される研究成果

応募書類は、イギリス時間の 2019 年 3 月 1 日 17:00 までに下記のメールアドレスへ送付すること。期限を過ぎての提出や提出書類の不備は、一切認めない。

minorityreligion@gmail.com